



皆さん、『OLD MAN PAR』

を相手にゴルフをしていますか？



③

3回目の今回は、球聖と言われ、歴史上最強のアマチュアといわれているボビージョーンズの格言である『オールドマンパー』を取り上げます。ゴルフをされているビジネスマンであれば、一度はお聞きになっていると思います。でも忘れていませんか？

ご存知のない方にご説明しますと、自伝には「ゴルフとは目の前の対戦相手に勝つためではなく、各ホールに設定されているPARとの戦い、言い換えれば自分自身との戦いである」と説明されています。その精神は、目指すべき「ゴルフメンタルの境地」という意味で使われています。当時、ストロークプレーでは強かったボビージョーンズもマッチプレーには全く弱かったようです。そこで気が付いた心境を意識してからは、快進撃が展開され、1年間に4大会を制覇するという前人未踏のグランドスラムを達成し引退しています。その精神は、毎年4月に開催される、オーガスタナショナルでの「マスターズ」に引き継がれています。

前回の掲載で、「身の丈」のゴルフを目指しましょう！とご提案しました。そこで、今回はその延長として、『MY PAR』マネジメントを提案します。①皆さんは、プロではないので、大方ハン

ディキャップを持っておられます。スコアカードに印刷されているPARがプロの基準とすれば、アマチュアは、72+ハンディキャップが自分の基準になります。その数値を、『MY PAR』と呼びます。仮にハンディキャップが25の方は、 $72+25=97$ が『MY PAR』となります。②スコアカードに印刷されているPAR72を(MY) PAR97に変更します③トータル97になるように、各ホール毎に修正し、カードに記載します④ラウンドしていないコースでは、難しいと想定される7ホールをダブルボギーとして、その他のホールはボギー設定となります。ホームコースでは、ホール毎に自分にとっての難易度に応じて、任意に設定することになります⑤ホール毎の結果は、『MY PAR』に対する増減を、+で記入します。ダブルボギー設定のホールでトリプルであった時は、+1(ネットボギー)となります。ボギーであった時は、-1(ネットパーディー)となります。⑥トータルベースでの、+が、その日の、ラウンド結果の自己評価となります。その時点では、グロススコアは全く価値を持ちません。⑦次のホールの打順も、MY PAR設定のネットベースの順番で打ちます。各自の実力と無関係に自分の基準の絶対評価

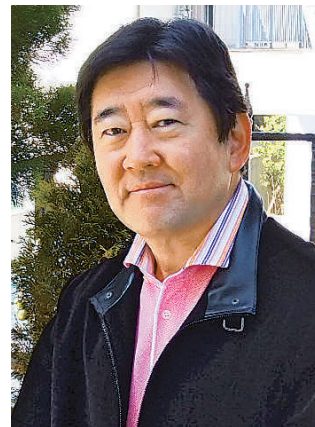
でラウンドするのです⑧加えて、他人のスコアは記入しません。ホール毎に確認する必要がないからです。ではマネジメントですが、ホール毎に設定した『MY PAR』を目指すべく、ホール毎の難易度を考慮したクラブ選択をして、コースマネジメントに繋がります。そこでの、ポイントは、ネットパー以上を目指してはいけないことです。それは、まさに、「身の丈」のゴルフではなくなってしまふからです。

ゴルフのミスショットの2大原因は、「不安と欲」です。そこには自分の実力に応じた「謙虚さ」が必要です。ゴルフというスポーツは、欲を出せば出すほど、そのバロメータとして、ミスショットがその欲の数だけ比例的に増えていきます。

ビジネスマネジメントの基本は、リスクとチャンスを見極め、会社の実力とマーケットを冷静に分析し、中長期的なビジョンと短期的な収益とのバランスを取りながら、ビジネス環境の変化に応じて、臨機応変に変革していくことだと思います。

ゴルフマネジメントと極めて似ていると思われませんか？

結論：皆さん、『OLD MAN MY PAR』を目指しましょう!!



村瀬雅宣

(むらせ・まさのぶ)

1977年一橋大学卒。同年4月東京海上火災保険入社。92年同新潟南支社長、2004年福岡久米支社長、08年日鉄保険サービス出向。

現在は日鉄住金保険サービス 企業リスクコンサルティング部長

ゴルフキャリア(ハンディキャップ: JGA3.0)

一橋大学体育会ゴルフ部キャプテン。東京海上火災保険ゴルフ部キャプテン。全国社会人企業対抗戦代表選手(約10年間)。全三菱ゴルフクラブ常任理事。首都大学東京ゴルフマネジメント講座講師。ゴルフレッスンコミック(コーキューシュッセ)連載中。メンタルトレーナー。一橋大学体育会ゴルフ部コーチ